

シリーズ ウイズコロナ時代を生きる



演者

公益財団法人東京都医学総合研究所副所長

糸川昌成 先生

不安な時代を 生き延びる

私たちに「不安」が必要なわけを
糸川先生が解き明かす！

ゲスト

伊藤順一郎

メンタルヘルス診療所
しっぽふぁーれ院長

第六十八回こんぼ亭

こんぼ亭亭主
市来真彦

参加費		
賛助 会員	1500円	一般 2500円
		グループ (3人まで) 6000円

2020
11/28 土
13:00~15:00

【お申込方法】

●以下のサイトからお申し込み下さい。
(クレジットカード決済、コンビニ支払い)

右のQRコードから
アクセスできます。



【オンライン開催】

- パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。
- オンラインの講演会システムZOOM(ズーム)ウェビナーを使用します。
- 参加者は、開催から数日後1週間、ウェブサイトで視聴ができます。
- 視聴している人の映像は画面に映りません。

くわしくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ ☎ **047-320-3870**
272-0031 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F 認定NPO法人コンボ

最終申込日

11月25日(水)
開催当日の受付はできません。ご注意ください!

プログラム

前半 糸川先生ご講演 途中休憩あり
後半 トークライブ(座談会)

POINT

- ① 動物は、危険だと感じるものは回避する
- ② 「不安」は意味や物語に位置づけることができる
- ③ そのなかで、「不安」は私たちが生き延びるための道標になる

糸川昌成

「不安」に込められた意味と物語
まったく不安を感じない動物は、危険な状況を生
き延びることができません。そして、多くの動物は、
心地よいと思うものには近づき、心地悪いと思うも
のには近づかない「接近・回避行動」をとります。
私達人類は、約10万年前にアフリカで誕生しまし
た。人類がサバンナで生き延びるには、まさに適切に
不安を感じて「接近・回避行動」をとる必要があっ
たはずで。
医療社会学者アントノフスキーは、ナチスの強制
収容所を生き延びた人々には、苦難に意味を見出
す傾向——たとえば、「強制収容はユダヤ民族が乗り
越えるべき試練である」と考える——があることを
発見しました。
不安はあつてはならないものではなく、意味や物
語の中に位置付けることで、適切な「接近・回避行
動」をとらせる道標(みちしるべ)となるのかもしれ
ません。
こんぼ亭では、私たちにとつての「不安」を解き明
かして、「不安」を道標とするための生き方を考えて
みたいと思います。(糸川昌成)



第68回こんぼ亭 オンライン



お申込み方法

【お申込方法】

以下のサイトからお申し込みください。
(クレジットカード決済、コンビニ支払いです)
<https://comhbotei68.peatix.com>



スマホの方は、こちらからアクセスできます。

【オンライン開催について】

- パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。
- オンラインの講演会システムZOOM(ズーム)ウェビナーを使用します(ウェビナーは、視聴している人の映像は画面に映りません)。
- お申込いただいた方には、開催当日の午前中、URLとパスワードをお送りいたします。
- 開始20分前からアクセスできます。お送りしたURLをクリックし、パスワードを入力してログインしてください。

【ご注意——コンボからのメール送信について】

- スマホでメールを受信する場合に、パソコンからのメールを受信できないといった現象がよく起きます。この場合は、迷惑メールの設定で受信拒否をしている可能性があります。スマホの方は、コンボからのメール(comhbotei@gmail.com)を受信できるように設定しておいてください。
- 開催日にメールを送りますので、土曜日にアクセスできるメールアドレスをご使用ください。

【こんぼ亭講演会当日について】

- 講演会開始20分前から接続可能です。
- 講演会での質問は、「Q&A」という機能がありますので、質問をすることができます。
- 後半のトークライブは、みなさんからいただいたご質問をもとに、進めて参ります。
- 全てのご質問にお答えできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 参加申込された方は、今回のこんぼ亭の様子を1週間に限り、ウェブサイトにて視聴していただけます。録画後編集するため、配信するまでにしばらく時間がかかります。開催後、メールにてご案内をお送りいたします。

くわしくは、コンボのウェブサイトにてご確認ください。

こんぼ亭月例会

